

見守り声かけ訓練 マニュアル (認知症SOS模擬訓練マニュアル)

～認知症についての理解を深め、見守り声かけ訓練をとおして、
地域の支援体制をつくりましょう～



UBE 宇部市

未来を彫刻するまち

令和6年4月

はじめに

認知症の方の行方が分からなくなった場合、すぐに気が付けば、近所で見つけられるかもしれませんが、時間が経てば経つほど遠くに行ってしまう可能性が高まり、見つけることが困難になります。

認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域の皆さんで認知症の方やその家族を温かく見守り、支えていくことが必要です。

実際に、行方不明の方を見かけたとき、また、近所で認知症と思われる方に出会ったとき、不安なく対応できるように、見守りや声かけを模擬体験してみましょう。

この取り組みは、「認知症の方を捜す能力を向上させること」が目的ではありません。認知症の方に声をかけるという「模擬体験」を通して、認知症について正しく理解し、地域でのつながり（例えば、声かけをすることで、行方不明になることを未然に防ぐ）を持つきっかけになれば幸いです。

1 メンバーを集めましょう

「見守り声かけ訓練をやってみよう！」と決めたら、まずは訓練の主催者として一緒に活動してくれる仲間を集めることから始めましょう。

自治会、コミュニティ推進協議会、民生児童委員、地域のサロンなど、地域には様々な活動があります。すでにある地域の集まりを活用して、実行委員を決めるのも、ひとつの方法です。

2 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）・高齢福祉課へ相談しましょう

一緒に「見守り声かけ訓練」を主催するメンバーが集まったら、まずはお住まいの地区の高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）に相談してください。

担当者が、見守り声かけ訓練の具体的な手順や方法について説明を行い、いろいろな相談にのります。

3 スケジュールと役割を決めましょう

訓練当日まで、事前に準備しなければならないことがあります。

それらを時系列に並べて大まかなスケジュールを立てましょう。

「見守り声かけ訓練」を行う日を決めたら、当日までに事前準備の役割や、訓練当日の役割の担当者を決めましょう。

●役割の一例

時期	内容	役割
	スケジュールと役割を決める	日程調整、役割調整担当
	地域に協力を呼びかける	協力依頼担当
	活動範囲を決める	危険箇所などルート選定担当
	認知症について理解するための研修会を企画する ・日程確保 ・講師の選定	研修会担当 訓練当日担当
	訓練のお知らせを作成する ・研修会について ・訓練当日について	研修会担当 訓練当日担当
	訓練のお知らせを配布・回覧する	お知らせプリント配布担当
	訓練当日のスケジュールを決める	訓練当日の受付担当 訓練当日の司会進行担当
	当日配布資料を作成する	当日配布プリント作成担当



4 地域に協力を呼びかけましょう

認知症の方を地域全体で支えていくことの大切さを地域全体で認識し、地域の支援体制づくりにつながるよう、呼びかけましょう。

(呼びかける一例)

警察署（交番、駐在所）、コミュニティ推進協議会、
民生・児童委員、自治会、社会福祉協議会、福祉委員、
子ども会、PTA、郵便局、銀行、信用金庫、
スーパー、コンビニ、福祉施設、介護施設、小学校、
中学校、高校、専門学校、病院、薬局 など



5 訓練当日の活動範囲を決めましょう

訓練当日の活動範囲を決めましょう。地域の「危険箇所」を見直す機会にもなります。

「見守り声かけ訓練」を通して、防災意識や安心安全なまちづくりへのきっかけとして下さい。

地域を歩くことが難しい場合は、ふれあいセンター等で認知症の方への声かけ訓練を行うこともできます。

地域のみなさんで活動範囲を
一緒に作成しましょう！

(作成する資料の例)

- 声かけルート
- ひとり歩きルート

6 地域に訓練開催をお知らせしましょう

地域の皆さんに、訓練開催について回覧板等を活用してお知らせしましょう。

(例)

【認知症について理解を深める研修編】

- 研修日時
- 開催場所
- 研修内容

【声かけ訓練編】

- 訓練開催日時
- 開催場所
- 訓練開催の目的



7 認知症についての理解を深めましょう

主催メンバーだけではなく、地域の皆さんにも認知症サポーター養成講座などを通して認知症について理解を深め、認知症の方への正しい「声かけの方法」等を学んでもらいます。

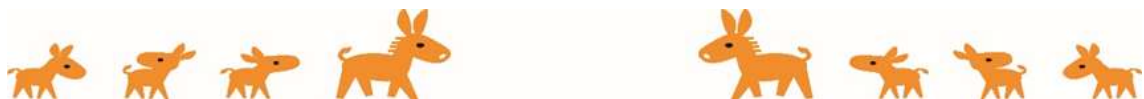
認知症サポーターが増えることで、認知症について正しく理解する仲間が増え、認知症の方やその家族が安心して暮らせるまちづくりにつながります。

【理解を深めるための研修会の一例】

- 認知症サポーター養成講座
- 声かけ方法を学ぶ寸劇
- DVDなどで症状を学ぶ



研修会の内容や講師については、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）へお気軽にご相談ください。



8 当日のスケジュールを決めましょう

当日のスケジュールを具体的に決めましょう。

【当日スケジュールの一例】

- 13:00 参加者集合・受付
- 13:10 はじめのあいさつ
- 13:15 スケジュール説明、グループ分け
- 13:30 認知症についての講座・
声かけのポイントや注意事項
- 14:00 訓練開始
- 15:00 訓練終了
- 15:05 意見交換会
- 15:25 おわりのあいさつ
- 15:30 終了・解散



9 訓練当日の配布資料をつくりましょう

訓練当日に参加者へ配布する資料を作成しましょう。

【配布資料の一例】

- 当日のスケジュール
- 訓練の趣旨・目的
- 声かけのポイント
- 訓練の際の注意事項
- 活動範囲の地図
- 行方不明者役の情報
- 認知症についてのチラシ
- アンケート

高齢福祉課では、訓練用グッズを貸し出していますので、お気軽にご相談ください。

【貸出グッズ】

DVD、メッシュゼッケンベスト

高齢者総合相談センター

(地域包括支援センター) 一覧



令和4年4月現在

担当 地区	センター名	電話
		FAX
東岐波 川上	東部第1高齢者総合相談センター (宇部市大字東岐波 4940 番地 1)	TEL: 39-6971
		FAX: 39-6972
西岐波 常盤	東部第2高齢者総合相談センター (宇部市大字西岐波 229 番地 105)	TEL: 39-6151
		FAX: 39-6502
西宇部 厚南	西部第1高齢者総合相談センター (宇部市大字際波 287 番地 1)	TEL: 45-3969
		FAX: 45-1224
黒石 原	西部第2高齢者総合相談センター (宇部市大字妻崎開作 470 番地 3)	TEL: 43-9307
		FAX: 43-9308
上宇部 小羽山	中部第1高齢者総合相談センター (宇部市中村二丁目 7 番 15 号)	TEL: 43-9551
		FAX: 35-9206
新川 鶉の島 藤山	中部第2高齢者総合相談センター (宇部市若松町 8 番 3 号)	TEL: 39-6131
		FAX: 39-8134
厚東 二俣瀬 小野	北部東高齢者総合相談センター (宇部市大字木田 40 番地 221)	TEL: 62-5858
		FAX: 62-5959
船木 万倉 吉部	北部西高齢者総合相談センター (宇部市大字船木 833 番地 3)	TEL: 67-0506
		FAX: 67-1413
恩田 岬	南部第1高齢者総合相談センター (宇部市東芝中町 4 番 45 号)	TEL: 38-8551
		FAX: 38-8552
見初 神原 琴芝	南部第2高齢者総合相談センター (宇部市寿町三丁目 2 番 26 号)	TEL: 38-3220
		FAX: 38-3221



見守り声かけ訓練マニュアル

(認知症SOS模擬訓練マニュアル)

作 成 宇部市認知症地域支援推進員会議
(宇部市高齢福祉課、高齢者総合相談センター)

発 行 宇部市高齢福祉課

お問合せ 宇部市健康福祉部
高齢福祉課 高齢者支援係
〒755-8601
宇部市常盤町一丁目7番1号
TEL 34-8303 FAX 22-6026